

ON!

old but New

伝統を残しながら、変わり続ける街
大手町・丸の内・有楽町の
街づくりを発信する情報誌

子どもたちへの招待状
Kids! Come to this Fantastic City

2005 SUMMER

005

ここは、おとなの街。なんて、誰が決めたんだろう。



街路樹によって分けられた車道と広く歩きやすい歩道、やさしい雰囲気の色。これらが仲通りにおちついた印象を与え、子どもたちもゆったり安心して歩くことができる。



大手町、丸の内、有楽町のそこかしこのカフェでは当たり前のように子どもたちの姿を見るようになった(BeGood Cafe MARUNOUCHI)。

ビジネス、ファッション、そしてグルメ…。大人たちにとってパーフェクトな要素を持ち合わせている大丸有だが、実は、子どもたちがドキドキする魅力もたくさんある。こうした街づくりをとおして大人も、子どもも、一緒になってこの街を楽しんでいる。



街の随所にある地図は、低く設置されていて子どもや車椅子でも見やすくなっている。街全体で、人をやさしく迎える準備ができているのだ。

この街は、いつの季節も自然が優しく子どもたちを迎えてくれる



都会の自然、もっと知ってみよう！

野鳥や虫、植物など丸の内の自然情報を発信し続けている「丸の内さえずり館」。ここでは、環境NPO・NGOの情報提供を行ったり、館内の大型スクリーンで美しい自然の映像を楽しめたりと、あらゆる角度から自然を知ることができる。しかも、さまざまなテーマの講演会や観覧会もあるから、これらに参加すれば丸の内の自然について意外な発見があるはずだ。

Nature Info Plaza 丸の内さえずり館

有楽町1-12-1 新有楽町ビル1F
03-3283-3536
11:00~19:00
日曜日・祝日休館
*夏休み期間(7/20~8/31)
にご来館のお子さまは折り紙で「鳥の帽子」をつくれます。
<http://csr.mec.co.jp/eco.html>



体いっぱい自然を感じながらサイクリング。

都心でとっておきのサイクリングコースといえばここ。皇居前という絶好のロケーションで、祝田橋から平川門までの往復約3km。毎週日曜日に開放されており、MTBからロードレーサー、子供用、幼児用と無料のレンタルサイクルも豊富。タンデム車(2人乗り)も用意されているので、ときには親子で乗るのもいいかも。

パレスサイクリング

開催日：毎週日曜日10:00~15:00
(雨天中止)
自転車貸出受付場所：皇居前警備派出所横
問い合わせ先：03-3211-5020
(ただし開催日の10:00~15:00のみ)
<http://www.jbpi.or.jp/pc1.php>



「美味しいね」の一言から大地の豊かさに思いを馳せる。

丸ビルの西側路面に面してオーガニック&コミュニティカフェBeGood Cafe MARUNOUCHIがある。オープンエアが心地よいこのカフェでは、オーガニック、有機農などをキーワードに、環境とカラダにやさしい食べ物を提供。子どもたちも、こうした野菜を口にする事で、自然が育む大地の豊かさを知ることだろう。

BeGood Cafe MARUNOUCHI

丸の内2-4-1 丸ビル1F
080-6519-2821
<http://www.begoodcafe.com/projects.php?project=01>



豆乳バーガー(390円)

豆乳アイスクリーム・スイートポテト(上・カップ、下・無添加コーンとも350円)



夢がいっぱいで賞「カバさんゆかい」のびやか賞「元氣いっぱいおうえん団」

© TOKYO COLONY

イベントに参加する

この街には、子どもたちが夢中になるお楽しみがいっぱいだ



7代目ピーターパン 宮地真緒



豊饒なイメージの世界、あふれんばかりの才能に乾杯！

キラキラとアート展

発想のユニークさや独特の色彩感覚に思わずうなってしまうのが、今年で4回目を迎える障害を持つ子どもたちの絵画コンクール。すべての応募作品は児童画データベースサイト「こどものエコム」上で公開されるので誰でも閲覧することができる。そればかりか、応募のなかから優秀作品50点を選び、期間限定で丸ビルの特設スペースに展示されるのでお見逃しなく！

展示会場：丸の内2-4-1 丸ビル
*展示期間は11月上旬の予定
問い合わせ先
三菱地所(株)CSR推進部
03-3287-5780
●応募作品公開HP(こどものエコム)
<http://www.kodomonoe.com>
*左の絵はいずれも第3回優秀作品



普段見ることができない丸の内を探検しよう。

Discovery in Marunouchi 2005

昨年も大人気だったイベントが「Discovery in Marunouchi」。文部科学省や銀行のディーリングルームなど、普段めったに入ることができない場所を親子で見学しようという散策ツアー。丸の内を裏側から社会科見学できるわけで、これに参加すれば、あなたもちょっとした丸の内ツウになれる!?

問い合わせ先
NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
03-3287-5386
開催日：8月24日(水)・25日(木)
対象：小学生とその保護者
定員：各日とも15組、30名
申し込みは下記HPから
<http://www.ligare.jp/>



この街には夢とロマンがいっぱい。

東京国際フォーラム

この夏の東京国際フォーラムは、親子が一緒に楽しめるイベントがいっぱい。ファミリーミュージカルの定番ともいえる「ピーターパン」は25年目を迎え、初代榊原郁恵から数えて7代目となる宮地真緒が主演。一方、「アート オブ スター・ウォーズ エピソード3展」は映画公開に合わせて開催されるもの。実際に撮影で使われたスターファイターも展示されるというから、ファンは必見だ。

丸の内3-5-1 東京国際フォーラム
申込方法等については下記HP参照
●ブロードウェイミュージカル「ピーターパン」
7月21日(木)~31日(日)
<http://www.horipro.co.jp/peterpan/>
●アート オブ スター・ウォーズ エピソード3展
7月8日(金)~8月21日(日)
<http://www.starwarsjapan.com/>



学び育む

この街には、子どもたちの好奇心を満足させるしかけがたくさんある。



今どき子ども50円。たっぷり遊んで楽しく学ぶ。

意外と知られていないが、日本で唯一の情報通信関係の博物館が、大手町にある「ていぱーく」。館内には、大型パラボラアンテナを使って声が遠くへ運ばれる仕組みを体感する「ささやき通信」や、本物の郵便バイクにまたがってモニターに映る街の家々に郵便を届けるシミュレーションなど、“ゲーム感覚”で学べる仕組みがいっぱいで、一日たっぷり遊べる。

ていぱーく (通信総合博物館)

大手町2-3-1
03-3244-6811 (総合案内)
9:00~16:30
月曜日・年末年始休館
*祝日・振替休日の時は翌火曜日が休館
大人110円
小・中・高校生50円(日・祝日無料)
<http://www.teipark.jp/>



大手町を子どもの街にしちゃおう!!

KIDS festival in大手町 vol.3

子どもたちが“働く”&“遊ぶ”でビジネス街・大手町を占拠しちゃうというのが「KIDS festival in大手町 vol.3」。子どもたちが記者となり大手町取材してつくる「こども新聞」や、実際に店を運営して生きた経済を学ぶ「子供企業塾」などなど、街をフィールドに学ぶしかけがいっぱい。パパやママの働く場所だって、この目で見るができるんだよ!

大手町1-7-2 東京サンケイビル
問い合わせ先
(株)サンケイビル商業施設チーム
03-3212-8475
開催日: 8月10日(水)~12日(金)<予定>
<http://www.metro-square.jp>



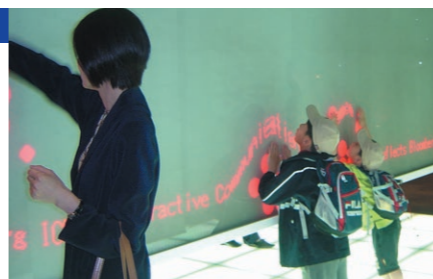
"The Emperor's New Clothes" © Pia Kryger Lakha 1999

アンデルセンの世界を訪ねてみよう。

今年アンデルセン生誕200年。これを記念してパレスホテルでは、アンデルセンの部屋の再現や絵本原画の展示などの展示会とワークショップを開催する。また、地下1階のカフェ・レストランでは、アンデルセンの童話からイメージした料理やデザートの数々が供されるというから、これも楽しみだ。

パレスホテル

丸の内1-1-1
03-3211-5211
●「アンデルセンの世界」展
8月1日(月)~26日(金)600円(小学生以下は無料)
●料理&デザートフェア
(カフェ・レストラン「ハミング」)
7月22日(金)~8月31日(水)
<http://www.palacehotel.co.jp/>



大画面を前にデジタルアートに夢中。

Bloomberg ICE

丸ビル1階の、ちょっと目立たないスペースにある巨大なLEDディスプレイが子どもたちを夢中にさせている。たとえば、ディスプレイのある部分をタッチすると画面がいきなりハーブの弦に変身。手で触れるとやさしい音を奏でてくれるといった具合だ。音と光の世界を遊ぶうちに、子どもたちは知らずとデジタルの世界の不思議を学んでいく。

丸の内2-4-1 丸ビル1F
8:00~20:00
土曜日・日曜日・祝日は11:00~20:00
<http://about.bloomberg.co.jp/about/ourco/ice.html>



白地黒掻落鶉文枕(中国 北宋時代)

えっ、これな〜んだ? “陶枕”って知ってる?

とかく足が遠のきがちな美術館だが、その敷居を少し低くしてくれるのが「中国・磁州窯—なごみと味わい—」展。そのなかで夏休み子どもたちにもアピールしようという企画で、陶枕(とうちん)という陶器製のユニークな枕にスポットを当てる。その寝心地や夢見心地を想像していくうちに磁州窯の歴史を知ってもらおうという狙いだ。

出光美術館

丸の内3-1-1 帝劇ビル9F
03-5777-8600 (ハローダイヤル)
7月2日(土)~8月28日(日)
月曜日休館(ただし7月18日は開館)
10:00~17:00
(金曜日は19:00まで)
一般800円、高大生500円、
中学生以下無料(要大人同伴)
<http://www.idemitsu.co.jp/museum/>



レストランの裏メニューで、テーブルマナーを学ぶ。

東京會館

子ども連れだからといって食事に手を抜きたくない。せっかく丸の内に来たのだからきちんとしたレストランでしっかり食事を、と思う人も多いはず。そんなとき気になるのが、子ども向けのメニューがあるだろうかということ。でもご安心。東京會館のレストラン「シェ・ロッシニ」では、事前に予約さえしておけば特製のお子さまランチを用意してくれる。本格的なレストランで子どもなりにマナーを学ぶ。これぞ食育の基本といえるだろう。

丸の内3-2-1 本館1F
「シェ・ロッシニ」(03-3215-2123)
お子さまプレート3,150円
<http://www.kaikan.co.jp/>



*表示価格はすべて税込です。

この秋丸の内エリアに、保育所がオープン

オフィスの街の保育所は
街の装置として位置づけられる。

今まで、保育所といえば住宅街にあるのが当たり前でした。ところが最近、オフィスの近くで子どもをみてもらえれば安心、という声に代表されるように、人が住んでいないビジネス街での需要が急増しています。若い世代の都心回帰現象や今年4月に施行された「次世代育成支援対策推進法」がこれを後押しする形になり、現在、各企業とも積極的に取り組んでいます。

こうした流れの中で生まれたのが、今年11月にオープンする丸の内東京ビル3階のチャイルドケアセンターです。この施設は、ライブカメラで自分の子どもの様子をパソコンから確認することができたり、英語

を話せるスタッフが常駐するなど、丸の内というロケーションを十分に考慮したものとなっています。また、完全給食やクリーニングサービス、チャイルドケアセンターは丸の内に勤務する方が利用するだけでなく、休日に遊びに来た方、さらには、新幹線でJR東京駅に下車した方や、はとバスの乗客など、さまざまな需要が見込まれます。このように、これからの保育施設は、街の機能を有機的に結びつける装置としての役割を担っていくといえるでしょう。



(株)アルファ・コーポレーション東京本部長 瀬戸裕之



キッズスクウェア 丸の内東京ビル概要

丸の内2-7-3 東京ビル3F
平日：8：00～20：00
土曜日：10：00～18：00

時間延長(22時まで)、というように利用者の意見を反映したサービスも行います。これらは、このチャイルドケアセンターを「街づくりの一環」として位置づけ、サービス内容や施設の設備内容について、我々運営会社とディベロッパーが何度もディスカッションを重ねて構築した成果です。

新丸の内ビルディング新築工事着工。

3月15日、千代田区丸の内一丁目「新丸ビル建替計画」の新築工事が着工された。竣工予定は2007年の4月。同ビルの正式名称は「新丸の内ビルディング」と決定されている。大丸有地区の歴史性と周辺環境との調和に配慮しながらも、新たな感性を取り入れるため、コンセプトデザイナーには英国人建築家のマイケル・ホブキンス卿が起用されている。

[建物概要]

敷地面積：約10,000㎡
主要用途：事務所、店舗、駐車場
最高高さ：約198m (B4F～38F・棟屋1階)
延床面積：約195,000㎡



「東京丸の内ユビキタスマュージアム」本格展開。

使い慣れた自分の“ケイタイ”から街の情報を取り出ししたり、自分の感想を送れる新しい形の「街ナビゲーション」システム「東京丸の内ユビキタスマュージアム」。この5月から、仲通りの街路樹94本をはじめ、街中の約240カ所に「情報アイコン(QRコード)」を設置したり、イベントやショップ情報を新たに追加するなど、使いやすさと内容を向上させ、新しい展開を見ている。

<http://Tokyo-dmy.jp/>



発行：大手町・丸の内・有楽町地区
再開発計画推進協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル635区
TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367
ホームページ <http://www.lares.dti.ne.jp/~tcc/>

*本誌に関するご意見、ご感想等ございましたら下記までお寄せください。
e-mail:tcc@lares.dti.ne.jp